

小麦で日本の食を豊かにするために

時代に先んじたダイナミックな企業経営で価値を創造



高品質な
国産小麦粉の
安定供給を目指して



食生活の改善・向上と
豊かな食文化の
創造に貢献

産業構造の近代化・産業の工業化

1900-1930s

ノウハウを欧米に学び、近代的な機械製粉業を開始

- 1900** 機械製粉業の将来性を感じた正田貞一郎が「館林製粉株式会社」を創立
- 1908** 「日清製粉株式会社」を合併し、社名を「日清製粉株式会社」に改める
- 1913** 正田貞一郎、欧米の製粉事業を視察。ヨーロッパ式の小麦・小麦粉に関する理化学的研究の必要性を実感

日本初、製粉工業に化学技術を導入

- 1914** 本社に化学実験室を設置し、理化学的研究を開始
- 1918** 中央研究所（現：上福岡研究所群）の前身となる化学研究所を設置

社運を懸けた臨海大型工場を建設

- 1926** 日本の製粉事業の発展を考え、原料小麦搬送の大型汽船着岸、小麦吸揚装置、ドイツ製製粉機械による生産ライン、大型サイロを有し、輸出を主体とした鶴見工場（臨海大型工場）を建設

製粉事業に関連する「イースト」や「篩^{ふるい}」事業を国産化

- 1929** 国産イーストのパイオニア、「オリエンタル酵母工業株式会社」設立
- 1934** 「日本篩^{ふるい}株式会社（株式会社 NBC メッシュテックの前身）」を設立

戦後復興期／高度経済成長期

1940-1960s

戦後復興への貢献

- 1945** 終戦から4日後、正田英三郎社長（当時）が復興委員会の設置を決定し、再建に向けた活動を開始。全社一丸で取り組んだ結果、4年の短期間で戦災を受けたすべての工場の復興を実現し、戦後の食糧危機打開に尽力

パン食と小麦粉製品の普及に努めるとともに、 新分野進出により経営の多角化を推進

- 1955** 量り売りから小分けにされた「家庭用小麦粉」「家庭向けマカロニ」を発売
- 1957** 飛躍的に小麦粉の品質を向上させる「ニューマチックミル（空気搬送方式）」を導入
- 1961** 「日清飼料株式会社」より配合飼料の製造、研究部門を譲受
- 1962** 「日清フーズ株式会社」設立。家庭用プレミックスの製造・販売を開始
- 1965** 医薬品の製造及び販売を本格的に開始
- 1967** 世界初、コエンザイム Q10の量産化製法の開発に成功

「量」から「質」へのニーズ変化に対応

- 1960年代** 中央研究所（現：上福岡研究所群）完成、「日清化学株式会社（現：日清ファルマ株式会社）」設立、「日清ディー・シー・エー食品株式会社（現：日清製粉プレミックス株式会社）」設立



ライフスタイルの変化により
多様化する食ニーズに
応える



さらなる「価値」を創造し、
豊かな食生活の実現に
貢献

経済のグローバル化

1970-1990s

お客様との対話を重視し、事業の多角化を継続して推進

- 1970** 「日清ペット・フード株式会社」設立（2020年ペットフード販売事業を譲渡）
- 1972** 「日清エンジニアリング株式会社」設立
- 1973** 食品知識の普及と苦情対応を目的に「食品消費者センター（現：お客様相談室）」を設置
- 1977** 「冷凍めん製造法」の特許を取得し、冷凍めん市場を創造

国際自由競争をにらみ、海外市場を開拓

- 1987** 正田修社長（当時）は当社グループの事業再構築に向けたアクションプラン「NI-90」を策定、推進。その基本理念である「変革」と「実行」は、以降の経営計画にも継承
- 1988** 「タイ日清製粉 Co., Ltd.」を設立
- 1989** カナダの製粉会社「ロジャーズ・フーズ Ltd.」を買収
- 1991** 「タイ日清 DCA 株式会社（現：タイ日清テクノミック Co., Ltd.）」、製粉会社「日清 STC 製粉 Co., Ltd.」を設立
- 1993** 「つくば研究所（現：つくば穀物科学研究所）」を設置
- 1996** 米国において「メダリオン・フーズ Inc.」を設立
- 1999** 中食・チルド事業に進出

少子高齢化の進展・世界経済のボーダレス化

2000-2020s

食ニーズの世界的な高まりを見据え、海外事業を本格展開

- 2000** 創業100周年
- 2001** 「日清製粉株式会社」を持株会社と事業会社に分社化
- 2002** 中国において「青島日清製粉食品有限公司」を設立
- 2004** 中食・惣菜事業の「イニシオフーズ株式会社」を設立
- 2005** 「新日清製粉食品（青島）有限公司」を設立（2007年 青島日清製粉食品有限公司を吸収合併）
- 2008** 「ISO14001」のグループ一括認証を取得
- 2010** 道産小麦の品質向上と国内産小麦の普及を目的に「北海道小麦センター」を設立
オリエンタル酵母工業株式会社及び株式会社 NBC メッシュテックを完全子会社化
- 2012** パイオ事業（診断薬原料）の拡大を目的として「Oriental Yeast India Pvt. Ltd.」を設立
米国の製粉会社「ミラー・ミリング・カンパニー LLC」を買収
- 2013** ニュージーランドの製粉事業を買収し、「チャンピオン製粉 Ltd.」を設立
- 2014** 「トルコ日清製粉 A. S.」を設立し、パスタのグローバル生産体制を確立
- 2016** 調理麺等の製造・販売を行う「株式会社ジョイアス・フーズ」を子会社化
- 2019** 豪州の「アライド・ピナクル Pty Ltd.」を買収し、オセアニア最大の製粉会社へ
総合中食・惣菜メーカーである「トオカツフーズ株式会社」を子会社化
- 2022** 「日清フーズ株式会社」が「株式会社日清製粉ウェルナ」へ商号を変更
中食・惣菜事業を統括する中間持株会社「株式会社日清製粉デリカフロンティア」を設立
オリエンタル酵母工業のインド子会社（Oriental Yeast India Pvt. Ltd.）イースト工場が稼働
- 2023** 「熊本製粉株式会社」の株式を取得し、子会社化

● 売上高・営業利益推移
■ 売上高 — 営業利益

※1950年以降を記載しています